

令和8年度 学校経営構想及びアクションプラン

〈学校教育目標〉

◎瞳輝いて 山中生

◎志燃えて 山中生

◎心通わせて 山中生

〈目指す学校像〉

「共に生きる力」と「自ら律する力」。敬愛・協力・自律を最も自然に包含した言葉。

生徒が明日も来たくなる学校 「共創自律(校訓)」

・多様性を尊重し、信頼と秩序を創る学校：徳 ・夢を育み、探究心あふれる学びを創る学校：知 ・心身を整え、挑戦と活力に満ちた学校：体

〈学校経営の基本方針〉

- ◎生徒・CSと協働で、創意工夫のある教育活動を展開し、明るく元気で、夢と感動のある学校を創る。
- (1) 生徒が互いのよさを認め、高め合う教育の実践
 - (2) 生徒が主体的に学び、相互に伝え合い、広げる教育の実践
 - (3) 生徒が自らの心身の健康と安全に対する意識を高める実践

〈目指す生徒像〉

- ◎笑顔と活気あふれる生徒(徳・知・体)
- (1) 思いやりの気持ちを言動に表し、友情を深め合う生徒
 - (2) 自分の個性を理解し、主体的に課題に挑戦し続ける生徒
 - (3) さわやかなマナーが身に付き、健康で素直な生徒

〈重点施策〉校訓を受けリスペクト&チャレンジを呼びかける！

多様性を尊重し、信頼と秩序を創る学校にするために(徳)

夢を育み、探究心あふれる学びを創る学校にするために(知)

心身を整え、挑戦と活力に満ちた学校にするために(体)

一心豊かな人間性を育む

- ① 生き方を自分事として考える「心に響く道徳」
- ② 「あいさつと笑顔」でつくる、安心できる居場所
- ③ 自分の「強み」を発見し、一歩踏み出す自信を育てる
- ④ 違いを「おもしろさ」に変える、認め合いの風土づくり
- ⑤ 役割と責任を力に変える、高め合うチームづくり

一確かな学力を育む

- ① 一人ひとりのペースで学び、みんなで深める授業
- ② 本音が言える「安心の学級」から、深い学びをスタート(MLA)
- ③ 生徒の「存在感」と「安心感」を支える授業づくり
- ④ ICTで「学びの足跡」を可視化し、次の一歩へつなげる
- ⑤ 図書館を「知の冒険」と「心安らぐ」拠点にする
- ⑥ 全ての学びの土台となる「基礎・基本」の徹底

一健康的で逞しい心身を育む

- ① 挑戦するエネルギーを生む「たくましい心と体」
- ② 自分の心と体を「自分で整える」セルフケアの習慣
- ③ 変化に正しく向き合う「感染防止の判断力と実践力」
- ④ 危険を予測し、安全な環境を「共に創る」意識
- ⑤ 活力ある一日をつくる「生活リズム」の確立

- 多様な価値観に触れ、正解のない問いに自分なりの答えを見つける「対話型・探究型」の授業を推進する。
- 自分を律し互いを守る「心の安全基地」としての学校を創る。
- 恐れず「まずはやってみよう」と思える自己肯定感を高め、主体的に動ける生徒育てる。
- 「みんな違って当たり前」誰もが「ここにいていいんだ」と感じられる土壌を耕す。
- 集団の中での自分の役割を実感させる。

- 習熟度合った「個別学習」と、新しい視点を得る「協働学習」を組み合わせ、学びのスタイルを尊重した最適な授業を創る。
- 間違いを恐れず、互いに聴き合える「学びの土場」を整える。
- 生徒指導の4機能を授業の土台に据える。居場所・共感・決定・安心
- 考える道具としてのICT活用推進。
- 「情報センター」としての活用と、知的好奇心を刺激し、心がらっと軽くなる「最高の居場所」にする。
- 「読み・書き・計算」！毎日の積み重ねを大切に、学習の基礎体力をしっかりと定着させる。

- 困難に負けないしなやかな心と、活動の源となる健やかな体をバランスよく育てる。
- 食事・睡眠・休養を自らコントロールする意識を高める。
- 「今、何をすべきか」を自ら判断し行動できる力を身につける。
- 学校の内外に潜む危険を予測し、自ら安全を確保する力を養う。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」等の基本的な生活習慣を定着させる。

〈具体の達成目標〉

- 「時と場に応じた中学生らしい立ち居振る舞いができる」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
- 異学年交流活動への参加を通じて、思いやりの気持ちや学校への誇り、帰属感、連帯感を育む。80%
- 登下校時の安全確保について自ら対策を考え、不安を解消できた生徒を80%以上にする。
- 探求型学習を取り入れ、自ら設定した課題の解決にあきらめずに取り組む生徒の割合を70%以上にする。
- ★基本的学習習慣と基礎学力を向上させる。(ドリル・ICT・ノート・メモカ・要点の聞き取りおよび理解)